

2 - 3 重点事業評価

事業名
県内図書館等との連携協力の推進

(1) 事業の概要

● 対象

県内の市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関及び県内の各種機関（民間・行政等）

● 意図・目的

本県公共図書館の中核としての役割への期待も大きいことから、県内の市町村立図書館等への協力・支援を行ない、県全体の図書館サービスの充実を図るとともに、各種機関との連携協力により、県民に対する幅広い読書推進活動に取り組む。

● 具体的取組の概要

①県内の市町村立図書館・公民館図書室職員を対象に開催する研修会や、新潟県図書館等情報ネットワーク構成機関（市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関等）を対象として行なう訪問相談・研修、小規模自治体向けのセット図書長期一括貸出等の充実を図ることにより、県全体の図書館サービスの向上を目指す。

②各種機関との連携協力により、連携型イベント（子ども読書オープンカレッジ、季節の上映会、絵本ワールドinにいがた、MALU!連携関連イベント等）を開催するとともに、「課題解決支援文庫」の整備、「郷土新聞画像データベース」のインターネット上での公開に取り組む。

(2) 指標（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
主催・共催イベントの実施数（うち主催）	140件（122件）	163件（141件） （116%）

（平成27年度実績：125件（うち主催117件））

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	AA（116%）	目標値を上回る数の主催・共催イベントを実施し、目標が十分に達成された。
------	----------	-------------------------------------

A A 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	利用者アンケート等から、共催・主催事業共に、概ね利用者ニーズにあったイベントを開催することができたと考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	イベントの参加者数は、延べ7,745人となり、各機関との連携協力によって多くの県民への幅広い読書支援活動に取り組むことができた。また、県立図書館のPRにも一定の効果があつた。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	職員体制に限られる中で、他機関やボランティアとの共催イベントを実施したことによって、運営体制の強化・充実に繋がった。また、共催事業を行うことによって、県民にとって必要な各種の情報をより幅広く提供することができた。

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など

次年度は、課題解決支援文庫の更なる整備・充実や、MALUI連携による「郷土新聞画像データベース」の周知と充実、利用環境の整備等に取り組む。また、各種イベントを運営・実施するノウハウの蓄積と向上にも、引き続き努めていきたい。

(5) 図書館協議会意見

主催・共催イベントについて、目標値を大きく上回っており、かつ、参加者の満足度が高いという成果については大いに評価される。協議会委員からは「イベントや展示会などを通じて、図書館が文化を発信する役割を担うことを期待する」という意見が出されており、今後も図書館に相応しい様々なイベントが開催されることを期待する。また、イベント参加者に、図書館資料の利用を促す取り組みを継続することも必要である。

さらに、人々の来館のきっかけをつくるためにも、イベントの開催について、例えば図書館のホームページにアクセスしない人々、図書館にそれほど関心のない人々にも広く知らせる必要があるとの意見も出された。